

第 8 次山梨県地域保健医療計画への意見反映について

(1) 主な疾病・取組ごとの状況

計画案に強度行動障害について記載してはどうか。

→障害児・障害者プランに記載

プラン P69

(1) 強度行動障害者等への支援

7. 高次脳機能障害は、障害の特性だけでなく、その名称についても認知度が低い
ため、支援拠点機関（高次脳機能障害者支援センター）において、県民などを対
象に正しい理解の促進を図ります。（再掲）〔健康増進課〕
91. 高次脳機能障害のある人を支援するため、関係機関との連携を図りながら、支
援拠点機関（高次脳機能障害者支援センター）が中心となり専門的な相談支援、
研修等を行うほか、身近な地域で支援を受けられるよう、センター、関係機関、
市町村等と連携し、相談支援体制の充実・強化を図ります。（再掲）〔健康増進課〕
191. 地域自立支援協議会の活用などにより、強度行動障害のある人に対する支援体
制の充実に取り組みます。〔障害福祉課〕

【用語解説】強度行動障害：

知的障害があり、生活環境への極めて不適切な行動としての行動障害が著し
い状態を指す。行動障害としては、多動、自傷、他害、興奮、パニック等が
ある。

192. 強度行動障害のある人を支える、専門的で質の高い支援人材の確保・育成に取
り組むとともに、各事業所において強度行動障害を有する障害児（者）に対する
チーム支援の実施をマネジメントする中心的な役割を果たす人材（中核的人材）
の配置を促進します。（新規）〔障害福祉課〕

(2) うつ病等対策

リハビリテーションを受けられる環境の整備など、リハビリテーションについて記
載してはどうか。

計画 P133 (2) うつ病等対策

- うつ病等の早期発見のための取組や、精神的ストレスの要因を取り除くための予防対策を
講じるほか、罹患後には安心して治療を受けられる環境の整備や社会復帰に向けた周囲の理
解も必要です。
- 関係機関と連携し、ストレスチェックの実施など職場におけるメンタルヘルス対策を促進
します。
- 精神科ショート・ケア、デイ・ケア等におけるリワークプログラムや認知療法、認知行動
療法の利用促進、普及を図ります。
- 職業リハビリテーション⁴⁶などを実施する山梨障害者職業センター⁴⁷との連携を図り、障
害のある人の就業支援や定着支援に重要となる就業後の生活支援を行います。
- 身近な地域において、障害のある人の就職や生活の指導、助言、その他支援を行うために
設置された県内 4 カ所の障害者就業・生活支援センターを拠点として、就職及び職場定着を
促進します。

(3) 統合失調症対策

治療抵抗性統合失調症治療薬（クロザピン）について力を入れて取り上げてはどうか。

計画 P133 多様な精神疾患への医療提供等

(1) 統合失調症対策

- 統合失調症の入院患者が依然として多いことから、治療抵抗性統合失調症治療薬・クロザピンや閉鎖循環式全身麻酔による精神科電気痙攣療法（m-ECT）など、難治性の精神症状を改善する治療法の普及や精神科リハビリテーションをはじめとする再発・予防的アプローチの充実などによって、地域生活への移行の促進を図ります。

(4) 数値目標

入院に関する内容以外の目標を設定してはどうか。

→新たな目標の設定を検討したが、目標の連続性及び継続性の観点から、従前の目標とした。次期計画に向け、国や他県の動向も踏まえ、継続検討としたい。